

# Taxi Japan

<http://www.h7.dion.ne.jp/~taxi-jp/>

16.02.25

No.273

タクシー専門情報紙  
タクシージャパン

巻頭特集

ストップ・ザ・高齢化!

論風一陣

改正法理に反する預かり休車の禁じ手!

## 健康起因事故の防止対策は重要 スマ・ロケで脈拍計測チエツク

インタビュー：高木宏昌氏（株式会社トライプロ代表取締役）

本紙1月25日付け第271号の巻頭特集で「バス・タクシーの健康起因事故対策に 健康管理＋動態管理のスマ・ロケを発売」の見出しで株式会社トライプロが開発した動態管理クラウドシステムのスマ・ロケを採用しているトラック会社が加盟する事業組合の神田伸敬専務理事に導入理由や活用方法、効果などをインタビューした。

今回は、「私は、運輸・運送業界の地位向上に貢献できるような商品を開発していきたい」と語るトライプロの高木社長にスマ・ロケ開発の動機や今後の見通しなどについて聞いてみた。

（聞き手＝高橋正信）



### スマ・ロケとは？

—スマ・ロケとはどういうものですか？

高木 スマ・ロケは、スマートフォンを活用したロケーションシステムのことです。この技術をベースにした、スマ・ロケHealthcareは、脈拍計測機能を備えた活動量計連動の乗務員管理システムです。

—このシステムを作るようになったきっかけをお聞かせください。

高木 過剰スペックではなく簡便で、運転手や事務所の管理者が簡単に使えるものを提供したかったからです。私は、運輸・運送の業界が好きで、そこで役立つものをいち早く届けたいと考えています。新しいテクノロジーによって今まで使えなかったもの、例えば、スマートフォンを使った動態管理システムがそれに当たります。

### 交通事故防止が目的

—スマ・ロケHealthcare

hcareは、交通事故防止が目的ですね。

高木 その通りです。事業用自動車による重大事故発生件数は減少傾向にあつて、平成24年は3050件で、平成15年の3655件から10年間で約16・6%減っています。その一方で、運転者の健康状態に起因する事故は増加しており、平成15年の51件から平成24年は143件と約2・8倍に増えていきます。さらに健康状態起因事故が、全重大事故に占める割合は1・7%から4・7%へと、大きく増加しています。

### 健康起因事故が増加

—一概に健康状態起因事故といってもイメージできません。具体的にお願いします。

高木 多いのは循環器系の障害で運転中に気を失ったり、心筋梗塞や脳溢血などです。他にも、糖尿病を患っている運転手の血糖値が上がりすぎて意識を失うケースもあります。自動車は、様々な事故防止装置の進化

で非常に安全になってきていますが、一方で、オートマチック車の普及など運転操作の容易化で、多少のケガや体調不良でも運転できるとなりました。こうしたことも健康起因事故が増加している要因のひとつだと考えます。また事故原因の解析技術も向上し、以前は原因不明だったような事故も、最近は運転手の体調不良が原因だったと分かるようになってきています。

—スマ・ロケHealthcareはスマートフォンを活用したロケーションシステムの技術をベースにしているとのことでしたが、既にタクシー業界ではGPSを使ったロケーションシステムが使われています。このスマ・ロケHealthcareの開発で想定されたのはトラック業界でしょうか？

高木 現行のスマ・ロケHealthcareは、脈拍測定機能を持つリストバンドとスマートホンのセットで運用する形になっています。タクシー業界では、ロケーションシステムと通

## 本システムのアプローチ

- 1.ドライバーの健康、疲労度、集中力等の状態を、リアルタイムで把握し、危険を回避させる。
- 2.ドライバーの健康状態を把握し、適切な休息を促す。また、健康状態を把握し、適切な休息を促す。
- 3.ドライバーの健康状態を把握し、適切な休息を促す。また、健康状態を把握し、適切な休息を促す。

健康状態を把握し、ドライバーの健康  
に配慮する。  
健康状態を把握し、適切な休息を促す。

## 活動量計(脈拍計測機能付)連動 乗務員管理システム スマ・ロケ Healthcare ご案内

健康状態を把握し、適切な休息を促す。

## 通知イメージ



## 使用するハードウェア



——この2月で71歳と68歳の高齢のタクシー乗務員による死亡事故が2件都内で続けて発生しています。健康起因事故かどうかは警察の捜査結果などを待つしかありませんが、71歳の運転手が起こした死亡事故はひき逃げで、68歳の運転手の死亡事故はブレーキとアクセルの踏み違いが原因だとされています。乗務員の高齢化対策はタクシー業界にとって大きな課題であり、そういう意味からも、本紙はスマ・ロケ Healthcare のような健康面からアプローチする乗務員の管理システムに期待をして

### 高齢運転手の事故防止

信のためのスマートホンは二重投資になるとの見方もありますが、そういった場合には、特に健康起因事故の発生が懸念される高齢運転手に限定してスマ・ロケ Healthcare を導入することも出来ます。また、弊社ではスマートホンが無くても運用できるシステムを現在開発中です。

います。  
高木 私は、運輸・運送業界の地位向上に貢献できるような商品を開発していきたいと考えています。例えば、先日も長野県軽井沢でスキーツアーバスの死傷事故が発生しましたが、そのような事故が起きると、世間からは「またか」という厳しい視線が運輸業界に向けられます。事故防止のためには、運転手のヒューマンエラーを減らすための取り組みが不可欠です。ヒューマンエラーの原因には、フィジカル(肉体的)なものやメンタル(精神的)なものがあります。ヒューマンエラーを予防するためのアプローチのひとつとして運



# 宝交通株式会社

代表取締役社長 笠原 猛

〒456-0031 名古屋市熱田区神宮四丁目7番27号  
TEL (052) 683-1111(代) FAX (052) 682-5010  
URL <http://www.takara-group.co.jp>

転手の生理的な状態を把握することが挙げられます。そのため開発した商品が、スマ・ロケHealthcareです。

### 高齢者の体調変化に注意

——運転手のヒューマンエラーを予防することに体調把握が役立つとのことでしたが、タクシー業界で課題となっている乗務員の高齢化対策にスマ・ロケHealthcareを活用することはできますか？



**高木** 体調には波がありませんが、若者の波と高齢者の波とは意味合いが異なります。より深刻なのは高齢者の体調の波が下がった時です。例えば、先ほど話が出た高齢のタクシー運転手がブレーキとアクセルを踏み違えて起こした死亡事故も、昔のようにクラッチ操作を必要とするタクシーであれば起きなかつたはずです。オートマチック車の普及などから自動車の運転操作が容易になったことで、少々体調が低下した高齢者でも運転が可能となりました。それが事故を惹起する原因のひとつとなっています。つまり高齢者ほど、安全のための体調管理が重要になります。

### 企業のリスクヘッジに

——例えば、高齢乗務員がタクシーで営業中に、スマ・ロケHealthcareのモニターに異常な数値が出たら、管理者が無線などで走行を中止するよう指示することも出来るということですね。

**高木** その通りです。脈拍数をモニタリングすることで、何らかの体調不良となる前兆が把握できると考えています。スマ・ロケHealthcareで管理者がリアルタイムに運転手の体調不良を把握することで、ヒューマンエラーによる事故発生を未然に防ぐことができるはずですが、2012年に

関越自動車道で発生した高速ツアーバスによる死傷事故や、今年1月に長野県軽井沢で発生したスキーツアーバスの死傷事故では多くの尊厳命が犠牲になり社会問題化しています。死亡事故を起こした貸切バス事業者は事業許可を取り消されて廃業しました。バス・タクシー・トラックという労働集約型産業における企業のリスクヘッジという面からも、私



は高齢化が進む運転手の健康起因事故の防止対策は重要性を増しており、全ての事業者に必要な不可欠なものになってくると思います。——ありがとうございます。